

サンシャイントレール・水無池コース[遊歩道]

サンシャイントレール散策コースは、車いすやベビーカーでも利用できるように道が舗装されており、志賀高原（しがこうげん）の中で最も手軽にアクセスできるコースである。コースの起点となるのは、志賀高原自然保護センター（しがこうげんしぜんほごせんたー）のすぐ隣にある蓮池（はすいけ）だ。そこから風光明媚な池をいくつか巡る 3.9 キロメートルのルートが蛇行しながら進んでいくと、終点の旭山下（あさひやました）バス停に到着する。コースの標高差はわずか 100 メートルほどで、終点までの所要時間は約 90 分である。

このコースの見どころは琵琶池（びわいけ）だ。この池は、夏になると周囲を紫のアヤメと赤いツツジに囲まれ、秋には旭山（あさひやま）の赤や黄色に色づいた木々の葉が湖面にきれいに映し出される。また、コース上では高山性や亜高山性のさまざまな湿原植物を見ることができ、志賀高原の名物となっている。

産卵場所となる池が数多くあるため、32 種類ものトンボやイトトンボがこの一帯を生息場所にしているというのもうなずける。主によく見られるのは、茶色の体に青と黄色の斑紋が特徴のルリボシヤンマ（*Aeshna juncea*）と、黒い体に赤とオレンジの斑紋が特徴のカオジロトンボ（*Leucorrhinia dubia*）である。また、黒地に黄斑が入ったムカシトンボ（*Epiophlebia superstes*）を発見できることもある。ムカシトンボは中生代からほとんどその姿が変化しておらず、「生きた化石」と呼ばれている。